

No.	事業等の名称	団体名	事業の概要		交付決定年月日	事業費(単位:円)		
			事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付額
1	小原地区元気いっぱい花いっぱい環境整備事業	小原草木会	地域の有志を募って「小原草木会」を立ち上げ、小原に訪れるハイカーや観光客へより魅力的になるよう地域の整備を行い、小原地域が活性化することを目的とするものである。 また、現在小原で進めている、中山間地域振興モデル地区の取組と併せた、魅力の創出・発信を行っていきたい。	・孫山登山道の整備(小原～孫山頂上～明王峠への分岐) この整備を通じて、高尾～陣馬の登山客を誘致できる土壌を形成していく。 (1)雑木の伐採 (2)登山道階段の修復 (3)頂上へベンチの設置 (4)高木の伐採を行う	R7.6.19	590,000	500,000	500,000
2	阿津さくら保全・活性化事業	阿津さくら自然を守る会	阿津地区の地域振興のために、過去に植林した河津桜の下草刈り等の保全活動や、その桜を活用した地域イベントでの発信や、地域の魅力を発信するためのPR活動を行い、地域の活性化を目指す。	・阿津地区の地域振興のために、過去に植林した河津桜のPRを行っていく。花見シーズンを盛り上げていくために遊歩道の飾りつけを行っていく(のぼり・提灯の準備、etc)。 ・阿津の桜を保全するための下草刈り、剪定。 ・剪定作業、広報活動等を行うためのスタッフジャンパーの用意。 ・ポスター、緑区のSNSで満開の時期に周知してもらう等の広報活動。	R7.6.19	400,000	300,000	300,000
3	里山未来デザインプロジェクト@石老山	自然バカの会	自然環境の再生や「里山再生」が必要と考える。そのためには、経験豊富な高齢者から緑地の管理や手仕事について学び・教わりながら共同作業で行っていき、「人と人」「人と自然」「世代と世代」を繋ぐ里山を復活させることを目的とする。この『里山再生』活動のフィールドとして、相模湖地区の地主と住民の共同財産である「石老山」を活用する。 この活動を通じて以下の4つを目的とする 1、里山の再生を行う。 2、『情緒』『音楽的・身体的コミュニケーション力』を磨く。 3、若者たちが社会へ『自信』をもって飛び出していく力を育む。 4、自然『循環』を次世代へと繋ぐこと。 これらの目的を達成するために「石老山」は重要で貴重なフィールドである。「若者たち一人一人が自律して道を切り開く力を育む」ことができる、そんな若者を応援する温かなまちづくりを目指して、『里山未来可能性で豊かなまちづくり@石老山』	①石老山の森林や畑の管理等(草木の除伐、田畑の開墾等) 篠竹・杉・檜木などによって荒れた土地・森になっている場所が多いため、除伐や間伐を行う。田畑は、緑肥や自然農法によって土地の改良を野菜や穀物づくりと同時にしていく。 ②イベント (1)自然食材体験会 (2)自然観察会 (3)クラフトづくり体験会 (4)ツリークライミング体験会	R7.6.19	250,000	250,000	250,000
						1,240,000	1,050,000	1,050,000